10月園だより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和7年10月1日
上麻生保育園

長い残暑もようやく終わり、園庭で走り回って遊ぶ子どもたちの姿が沢山見られるようになってきました。戸外で体を動かし元気に過ごしたり、散歩に出かけて探索活動を楽しんだりと秋ならではの遊びを十分に行っていきたいと思います。

《10月の行事》

15日（水）防災訓練・171災害伝言ダイヤル体験
21日（火）フォトステップ写真撮影
22日（水）わくわくデー（幼児クラス）
23日（木）歯科健診（AM全クラス）
園医健診（2歳児）
28日（火）スポーツフェスタ総練習（幼児クラス）
29日（水）わくわくデー（幼児クラス）
30日（木）三者連携集会
※月はじめ　身体測定
※交流保育（あのねほいくしつ）1日（水）15日（水）

＜地域子育て支援の予定＞

16日（木）あそびの広場「かっぱ広場」
「栄養士による食育講座」を行います。

☆9日（木）・28日（火）親子でランチ
地域の親子が来園し、食事までの保育体験をします。

☆他にも園庭開放・室内開放・絵本の貸出し・子育て相談等を行います。

＜保育環境の工夫(室内)＞

園内には子ども達が、ウキウキわくわくするような遊びの工夫がされています。

★マルチパーツ（運動遊びに大活躍です）

★壁に音の出る玩具を飾っています

★菓子箱で作った引き出し

★ペットボトルふたで作った絵合わせ

東京オリンピックって2回やっていたの？

1964年10月に、1回目の東京オリンピックがありました。それを記念して10月を「体力つくり強調月間」としています。麻生区スポーツセンターでも「スポーツの日記念事業」をやります。皆さんも、日頃から身体を動かして、体力を身に着けてください。

麻生区役所　地域みまもり支援センターより

イラスト出典：メイト

上麻生保育園では毎年防災訓練の他、幼児クラスを中心に災害時に身を守る為の防災教育を行っています。また、年齢が違う友達と関わる中で、思いやりを育むことをねらいとした異年齢児交流「わくわくデー」を行っています。今月は2つの活動内容をお伝えします。

異年齢児交流（幼児クラス）

春からコーナー遊びを通して異年齢の友達と触れ合う日「わくわくデー」を設定しています。粘土遊びや空き缶つみ、プラレールなど、好きなコーナーで過ごすうちに年齢の小さい子は大きい子の遊び方を学んで真似をする姿や、大きい子は小さい子に優しく接する姿が沢山みられるようになりました。秋以降は3つのグループに分けて散歩やお店屋さんごっこといった様々な活動を行い、異年齢児交流を深めていく予定です。

人気のコーナー遊び
「魔法のじゅうたん」

友達を乗せて引っ張る遊びです。
時には小さな子が大きな子を引っ張ることもあります。

保育園の安全教育・防災対策

毎月行っている防災訓練では、地震と火災それぞれの避難経路や避難の仕方、災害に備えるための準備など、子どもたちに「命を守る大切さ」を伝えています。

9月は震度6強の地震を想定しケガ人が発生した場合の防災訓練を行いました。

毎月の防災訓練の内容は、伝言ダイヤルでお知らせしています。ぜひ体験日に聞いて、ご家庭でのお子さんとの話題にしてみてください。

防災教育（幼児クラス）

「災害って何？」「どんなことが起こるだろう？」

幼児期から災害の疑似体験や、防災訓練を重ねることで、災害に対する意識が育ちます。子どもたちが災害や防災について考え、いざという時に身を守る行動ができるように伝えています。

●**キャップ踏み体験（8月）**…ペットボトルのキャップをガラスなどの危険物に見立て、その上を歩く疑似体験をしました。靴下でキャップを踏むと痛いことや、ケガをしてしまうこと、そして上履きを履くことの大切さに、子どもたち自身が気づくことができました。

●**家具の転倒体験（9月）**…家具に見立てた段ボールが地震の時にどうなるか、どのように身を守るかを体験しながら考えました。「地震だ！」の声にすぐに机の下に入り、だんご虫のポーズで頭を守っています。天井に貼ってある「あつまれくん、しずかちゃん」のマークを指さし、確認する姿も見られました。

今後も、地震の揺れや煙、ランタン点灯、暗闇などさまざまな体験を行う予定です。